

テックワンティーシーダブリュー

Tec-One TCW

## テックワンを継承した次世代金物

コンパクトでありながらより高強度を実現。日本製鉄(株)と(株)タツミの共同開発商品です。日本製鉄(株)が手掛けるスチールハウスのノウハウを最大限に活用し、従来のテックワンに比べてコンパクトでありながら耐力がアップした新しい金物を実現し、より広範囲な木造建築物への適用を可能にしました。これまでの解析や試験から、最も発生応力が生じる箇所はボルト穴がある背板部で、それに比較してドリフトピンがかかる羽部は応力が低いことがわかりました。羽部を薄くすることで接合部における重要部分と過剰部分の最適化が図られ、更に特殊なカシメ技術により2つの金物を接合する事で金物の耐力アップとコンパクト化が同時に実現可能となりました。



TCW-10  
対応梁成：105～150mm



TCW-18  
対応梁成：180～210mm

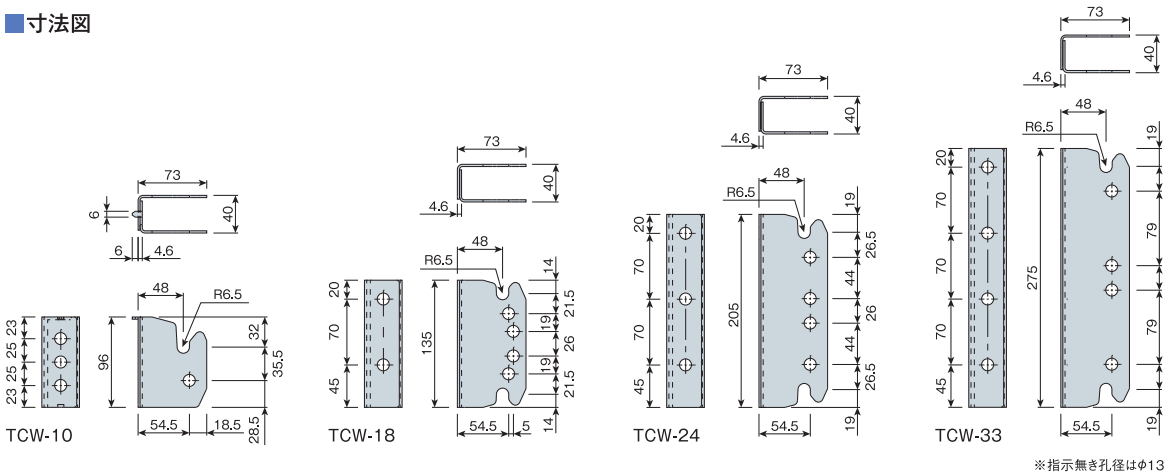


TCW-24  
対応梁成：240～300mm



TCW-33  
対応梁成：330～420mm

### ■寸法図



※指示無き孔径はφ13

テックワン  
Tec-One

アゴ掛金具(テックワン TCW) TCW

### 用 途

- 構造部材(柱材や横架材など)を接合する際に使用します。

### 特 長

- ボルトとドリフトピンによる単純な組み合わせで、強い架構が実現可能です。
- テックワンP3より出幅を抑えコンパクトにし、板厚を薄くすることで最大40%軽量化。
- L型金物をボルト接合面で重ね合わせることで、板厚を最適化。高い耐力を実現。

### 施工方法

- ①ボルトにて柱材や横架材に金具を取り付けます。
  - ②横架材の仕口には予め所定の位置にドリフトピンを打ち込んでおきます。(先行打ちピン)※1
  - ③横架材を落とし込んだ後、残りのドリフトピンを打ち込んで固定します。(後打ちピン)
- ※1 先行ピンを正しく打ち込む事により、横架材を落とし込む際の落下防止になります。

| サ イ ズ | TCW-10：73×40×96mm  | TCW-18：73×40×135mm | TCW-24：73×40×205mm |
|-------|--------------------|--------------------|--------------------|
|       | TCW-33：73×40×275mm |                    |                    |
| 表面処理  | 新溶融めっき             |                    |                    |
| 梱 包   | TCW-10：30個／ケース     | TCW-18：20個／ケース     | TCW-24：12個／ケース     |
|       | TCW-33：10個／ケース     |                    |                    |

| 使用接合具 |   |               |        |        |        |    |
|-------|---|---------------|--------|--------|--------|----|
|       |   | TCW-10        | TCW-18 | TCW-24 | TCW-33 |    |
| 柱     | 側 | M12 中ボルト(別売品) | 1本     | 2本     | 3本     | 4本 |
| 横架材側  |   | ドリフトピン(別売品)   | 2本     | 3本     | 3本     | 3本 |

| 耐 力 柱－梁             | TCW-10 | TCW-18 | TCW-24 | TCW-33 |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|
| 短期基準せん断耐力 (kN)      | 8.1    | 26.4   | 39.6   | 48.0   |
| 短期基準(逆)せん断耐力 (kN)   | 7.3    | 17.5   | 22.5   | 25.8   |
| 短期基準引張耐力 (kN)       | 13.5   | 23.5   | 24.3   | 33.4   |
| 存在接合部倍率(引張耐力÷5.3kN) | 2.5    | 4.4    | 4.5    | 6.3    |

| 耐 力 梁－梁             | TCW-10 | TCW-18 | TCW-24 | TCW-33 |
|---------------------|--------|--------|--------|--------|
| 短期基準せん断耐力 (kN)      | 8.0    | 16.9   | 29.5   | 36.4   |
| 短期基準(逆)せん断耐力 (kN)   | 7.8    | 15.6   | 24.7   | 28.9   |
| 短期基準引張耐力 (kN)       | 10.3   | 27.5   | 30.0   | 30.7   |
| 存在接合部倍率(引張耐力÷5.3kN) | 1.9    | 5.1    | 5.6    | 5.7    |

表中の数値は(一財)日本建築センター性能評定による。

※試験時の使用木材

柱 材／寸法：105×105 樹種：スプルース同一等級構造用集成材 E95-F315

横架材／寸法：105×105～330 樹種：スプルース対称異等級構造用集成材 E105-F300

荷重ケースにおける基準耐力の算出について

短期基準耐力：1.0とした場合、中短期：0.8、中長期：0.715、長期：0.55

出典(一社)日本建築学会木質構造設計規準・同解説―許容応力度・許容耐力設計法―

### ■納まり図

